

学校教育目標



# 自ら学ぶ子

「学び続ける子」「共に生きる子」「健やかな子」「浦島の子」「未来を創る子」

9月号 令和4年8月31日

## 教室はまちがうところだ

校長 薬科 直希

8月27日、39日間の夏休みを終え、「早く友達や先生に会いたいな」「もっと休みたかったなあ」など、様々な思い

を抱えて子どもたちが学校に戻ってきました。久しぶりに聞く子どもたちの「おはようございます」の声に、門で出迎える

自分の胸が熱くなり、自然と笑顔になりました。その日の朝会で、子どもたちに「教室はまちがうところだ」の詩を紹介し

ました。

教室はまちがうところだ

詩田晋時

教室はまちがうところだ  
みんなどしどし手をあげて

まちがった意見を言おうじゃないか  
まちがった答えを言おうじゃないか

まちがうことをおそれちゃいけない  
まちがったものをわらっちゃいけない

まちがった意見をまちがった答えを  
ああじゃあないかこうじゃあないかと

みんな出しゃいいいあうなかでだ  
ほんとのものを見つけていくのだ

そうしてみんな伸びていくのだ

いつも正しくまちがいのない

答えをしなくちゃならんと思って  
そういふところだと思ってるから

まちがうことがこわくてこわくて  
手もあげないで小さくなって

だまりこくって時間がすぎる

しかたがないから先生だけが  
勝手にしゃべって生徒はうわのそら

それじゃあちつとも  
伸びてはいけない

神様でさえまちがう世の中

ましてこれから人間になろうと  
しているぼくらがまちがったって  
なにがおかしいあたりまえじゃないか

中略

まちがいだらけのぼくらの教室  
おそれちゃいけない  
わらっちゃいけない

安心して手をあげろ  
安心してまちがえや

まちがったってわらったり  
ばかにしたりおこったり

そんなものはおりやあせん

まちがったってだれかがよ  
なおしてくれるし教えてくれる

困ったときには先生が  
ない知恵しぼって教えるで

そんな教室作ろうやあ

以下省略

この詩は、1967年に静岡県の中学校で教師

をしていた詩田晋時さんが、学級新聞に書いた

ものがロコミで全国に広まったものです。現在は

本として出版されています。全文は、紙面の

関係でたいへん残念ですが、割愛させていただきます。

本は、本校の図書室にもあります。

この詩は、無理やり手をあげることやわざと間違えることをすすめているわけではありません。間違っても、失敗しても

大丈夫、みんなが受け入れてくれるという安心感が何よりも大切なのだと思います。誰もが安心して自分らしさを発揮し、

一人ひとりの思いや考えを大切に、試行錯誤しながら「みんなで伸びていく」温かい教室や学校を、みんなであつ

ていきたいと思っています。